

## LESSON NOTES

# Advanced Audio Blog S4 #10 Top 10 Japanese Authors: Haruki Murakami

---

## CONTENTS

- 2 Kanji
- 3 Kana
- 4 Romanization
- 6 English
- 7 Vocabulary
- 7 Sample Sentences
- 8 Grammar

# 10

# KANJI

1. 村上春樹
2. 現在の日本で、国民的な支持を受ける小説家といえば村上春樹です。海外でも多くの作品が翻訳されているので、読んだことがある人もいるでしょう。
3. 昨春に上梓された『1Q84』は久々の長編小説ということもあり、発売前から話題になりました。同年二月にはイスラエルの文学賞である「エルサレム賞」を受賞し、そのスピーチも耳目を集めています。
4. そんな彼の人気を決定付けたのが『ノルウェイの森』です。上下巻で430万部を売り上げ、一躍ベストセラーに。
5. 「死は生の対極としてではなく、その一部として存在している。」これは主題を暗示する一文です。高校時代、主人公「僕」は突然、親友を亡くします。自殺でした。その親友の恋人「直子」に想いを寄せる「僕」ですが、彼女もまた自らの手で人生に幕を下ろしてしまいます。大切な人を立て続けに失った主人公は「それでも自分は生きていかなければならない」と思う...ごく簡単にあらすじをまとめるとこんな感じでしょうか。
6. 本作は言うまでもなく、どの作品にも随所にクスッと笑える比喻や考えさせられる言い回しが散りばめられていて、何度読んでもそのたびに新しい発見があります。
7. また、読み手がどんな気持ちで作品に触れるかによって、様々な解釈で読み進めていけるのも村上作品の魅力でしょう。したがって、以前と今回の読後の感想が異なることもしばしば。
8. エッセイや紀行文も多数出版され、作品のモチーフとなる出来事や人となりを知ることができます。
9. ノーベル文学賞の有力候補として注目される村上春樹。今後がますます期待されます。
- 10.

CONT'D OVER

11. 1949年1月 京都府に生まれる
12. 代表作 『ノルウェイの森』
13. 『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』
14. 『ねじまき鳥クロニクル』

## KANA

1. むらかみはるき
2. げんざいの にほんで、こくみんてきなしじを うける しょうせつか といえば むらかみ はるき です。 かいがいでも おおくの さくひんが ほんやくされているので、 よんだ ことがある ひと も いる でしょう。
3. さくしゅんに じょうしされた 『1Q84』 は ひさびさの ちょうへんしょうせつ という こと も あり、 はつばいまえから わだいになりました。 どうねん にがつには イスラエルのぶん がくしょう である 「エルサレムしょう」 を じゅしょうし、 そのスピーチも じもくを あつめて います。
4. そんなかの にんきを けていづけた のが 『ノルウェイのもり』 です。 じょうげかんで 430まんぶを うりあげ、 いちやく ベストセラーに。
5. 「しはせいの たいきよくとして ではなく、 その いちぶとして せんざいしている。」 これは しゅだいを あんじする いちぶんです。 こうこうじだい、 しゅじんこう 「ぼく」 は とつぜん、 しんゆうを なくします。 じさつでした。 その しんゆうの こいびと 「なおこ」 に おもいを よせる 「ぼく」 ですが、 かのじょも また みずからの てで じんせい に まくを おろして しまいます。 たいせつな ひとを たてつづけに うしなつた しゅじんこう は 「それでも じぶんは いきて いかなければ ならない」と おもう...ごく かんたんに あらすじを まと めると こんな かんじ でしょうか。

CONT'D OVER

6. ほんさくはいうまでもなく、どの さくひん にも ずいしょに クスツと わらえる ひゆや かんがえさせられる いいまわしが ちりばめられていて、なんどよんでも そのたびに あたら しい はっけんが あります。
7. また、よみてが どんなきもちで さくひんに ふれるか によって、さまざま な かいしゃく で よみすすめて いけるのも むらかみ さくひん の みりよく でしょう。したがって、いぜん と こんかい の どくごの かんそうが ことなる こともしばしば。
8. エッセイ や きこうぶん も たすう しゅっぱん され、さくひん の モチーフ となる できごと や ひととなり を することも できます。
9. ノーベル ぶんがく しょう の ゆうりよく こうほとして ちゅうもく される むらかみ はるき。 こんごが ますます きたい されます。
10. 1949ねん1がつ きょうとふに うまれる
11. だいひょうさく 『ノルウェイのもり』
12. 『せかいのおわりと ハードボイルド・ワンダーランド』
13. 『ねじまきどり クロニクル』

## ROMANIZATION

1. Murakami Haruki
2. Genzai no Nihon de, kokuminteki na shiji o ukeru shōsetsuka to ieba Murakami Haruki desu. Kaigai de mo ōku no sakuhin ga honyaku sarete iru node, yonda koto ga aru hito mo iru deshō.

CONT'D OVER

3. Sakushun ni jōshi sareta "1Q84" wa hisabisa no chōhen shōsetsu to iu koto mo ari, hatsubai mae kara wadai ni narimashita. Dōnen ni-gatsu ni wa Isuraeru no bungakushō dearu "Erusaremushō" o jushō shi, sono supīchi mo jimoku o atsumete imasu.
4. Son'na kare no ninki o ketteizuketa no ga "Noruwei no mori" desu. Jōgekan de 430-manbu o uriage, ichiyaku besutoserā ni.
5. "Shi wa sei no taikyoku to shite de wa naku, sono ichibu to shite sonzai shite iru." Kore wa shudai o anji suru ichi-bun desu. Kōkōjidai, shujinkō "boku" wa totsuzen, shin'yū o nakushimasu. Jisatsu deshita. Sono shinyū no koibito "Naoko" ni omoi o yoseru "boku" desu ga, kanojo mo mata mizukara no te de jinsei ni maku o oroshite shimaimasu. Taisetsu na hito o tatetsuzuke ni ushinatta shujinkō wa "soredemo jibun wa ikite ikanakereba naranai" to omou... Goku kantan ni arasuji o matomeru to kon'na kanji deshō ka.
6. Honsaku wa iu made mo naku, dono sakuhin ni mo zuisho ni kusu tto waraeru hiyu ya kangaesaserareru iimawashi ga chiribamerarete ite, nando yonde mo sono tabi ni atarashii hakken ga arimasu.
7. Mata, yomite ga don'na kimochi de sakuhin ni fureru ka ni yotte, samazama na kaishaku de yomisusumete ikeru no mo Murakami sakuhin no miryoku deshō. Shitagatte, izen to konkai no dokugo no kansō ga kotonaru koto mo shibashiba.
8. Essei ya kikōbun mo tasū shuppan sare, sakuhin no mochīfu to naru deki goto ya hito to nari o shiru koto mo dekimasu.
9. Nōberu bungakushō no yūryoku kōho to shite chūmoku sareru Murakami Haruki. Kongo ga masumasu kitai saremasu.
10. 1949-nen 1-gatsu Kyōtofu ni umareru
11. Daihyōsaku (Noruwei no mori)
12. (Sekai no owari to hādoboirudo. wandārando)

CONT'D OVER

13. (Nejimakidori kuronikuru)

## ENGLISH

1. Haruki Murakami
2. One novelist who is the recipient of public support in Japan today is Haruki Murakami. Even abroad, many of his books have been translated into other languages, so there will be those of you who have read his work.
3. "IQ84," which was published last spring, became a talking point even before it went on sale due also to the fact that it was Murakami's first full-length novel in a while. In February of the same year, he won The Jerusalem Prize, a literary prize in Israel, and his speech also garnered much attention.
4. What cemented Murakami's popularity was "Norwegian Wood." The first and second volumes combined sold 4,300,000 copies, and it became an immediate best seller.
5. "Death is not the opposite of life but exists as a part of it." This single sentence describes the theme of the book. As a high school student, the protagonist "I" suddenly loses his best friend to suicide. "I" loves that friend's girlfriend, "Naoko," but she too takes her own life. The protagonist, having lost the people he cares about one after the other, thinks "Even now, I have to go on living." If you were to summarize the novel incredibly simply, it might look something like this.
6. In any of Murakami's works, not to mention the book in question, dotted everywhere are metaphors that make you give a little chuckle or phrases that make you stop and think, so that no matter how many times you read them, you'll discover something new each time you do.
7. Yet another appeal of Murakami's work is the fact that, depending on the mood of the reader when he or she approaches the book, it can be interpreted in various ways as one continues reading. Consequently, it's not unusual to have a different impression from the previous time on having finished reading the book for a second time.

CONT'D OVER

8. Murakami also has a great number of essays and travel diaries published from which you can see the ideas that go on to become events in his novels and from which you get an idea of Murakami's own personality.
9. Haruki Murakami is also attracting attention for being a front-runner for the Nobel Prize for Literature. Expectations can only rise.
10. January 1949, born in Kyoto prefecture
11. Best-known works are "Norwegian Wood," "Hard-Boiled Wonderland and the End of the World," and "The Wind-Up Bird Chronicle"

## VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
解釈	かいしゃく	kaishaku	interpretation
対極	たいきょく	taikyoku	extreme opposite(s), total opposite(s)
比喻	ひゆ	hiyu	simile, metaphor
上梓する	じょうしする	jōshisuru	to publish
支持	しじ	shiji	support
候補	こうほ	kōho	candidate
耳目を集める	じもくをあつめる	jimoku o atsumeru	to capture the attention (of)
暗示する	あんじする	anji suru	to imply, to suggest, to indicate
随所	ずいしょ	zuisho	ubiquitous, everywhere
一躍	いちやく	ichiyaku	in one leap, instantly

## SAMPLE SENTENCES

<p>この作品は解釈が自由にできる。 <i>Kono sakuhin wa kaishaku ga jiyū ni dekiru.</i></p> <p>This work is open to interpretation.</p>	<p>母と父の性格は対極にある。 <i>Haha to chichi no seikaku wa taikyoku ni aru.</i></p> <p>My mother and father have totally opposite personalities.</p>
<p>作品の中に多くの比喩を使う作家が好きだ。 <i>Sakuhin no naka ni ōku no hiyū o tsukau sakka ga suki da.</i></p> <p>I like writers who use a lot of metaphors in their work.</p>	<p>その作家は、「容疑者X」という本を上梓した。 <i>Sono sakka wa XXX to iu hon o jōshi shita.</i></p> <p>The writer published a book called Suspect X.</p>
<p>国民の支持なしには、政策を実行できない。 <i>Kokumini no shiji nashi ni wa seisaku o jikkō dekinai.</i></p> <p>It's impossible to implement policy without the support of the nation.</p>	<p>私の父は、サッカー日本代表の候補に選ばれたことがある。 <i>Watashi no chichi wa sakkā nihondaihyō no kōho ni erabareta koto ga aru.</i></p> <p>My father was once selected as a candidate for the Japanese national soccer team.</p>
<p>政治家のスキャンダルは、耳目を集めた。 <i>Seijika no sukyandaru wa jimoku o atsumeta.</i></p> <p>The politician's scandal captured everyone's attention.</p>	<p>おみくじで大吉だったのは、これからいいことが起こることを暗示しているはずだ。 <i>Omikuji de daikichi datta no wa kore kara ii koto ga okoru koto o anji shite iru hazu da.</i></p> <p>The fact that I drew "Great Fortune" at the temple lottery must indicate that good things are going to happen from now on.</p>
<p>この作家の作品には、カタカナ語が随所に見られる。 <i>Kono sakka no sakuhin ni wa katakanago ga zuisho ni mirareru.</i></p> <p>This author's books have katakana words everywhere.</p>	<p>彼女は、その曲で一躍有名になった。 <i>Kanojo wa sono kyoku de ichiyaku yūmei ni natta.</i></p> <p>She became famous instantly with that song.</p>

## GRAMMAR

**Natsuko:** オーディオブログ第四シーズン第10課 村上春樹

**Yuichi:** こんにちは ゆういちです

Natsuko: なつこです。このレッスンで紹介する作家は誰でしょうか？

Yuichi: 日本ではノーベル文学賞に一番近い作家・・・と言われている、村上春樹です

Natsuko: おお！では、聞いてみましょう。

Natsuko: いかがでしたか。ブログの中で、「昨春に上梓 (じょうし) された「1Q84」は・・・」とありましたが、このブログを宮地 (みやち) 先生が書いてくれたのは2010年ですから、昨春は2009年の春という意味です。

Yuichi: 上梓という言葉も難しい言葉ですね。で、まあ、「本を出版する」という意味です。

Natsuko: 難しいといえば、「耳目を集める」なんていう表現もありましたね。エルサレム賞を受賞したときに村上春樹がしたスピーチが「耳目をあつめた」、そうなんですが・・・。

Yuichi: この、「耳目をあつめる」というのは、大勢の注目を集めるという意味です。

Natsuko: 「じもく」の漢字の意味を考えれば分かりやすいんですよ。たくさんの人の「目」と「耳」をあつめる…ひきつける…ということです。

Yuichi: 「上梓」や「耳目を集める」という言葉は、普段の会話ではあまり聞くことは多くなくて、どちらかという書き言葉で使われますね。

Natsuko: そうですね。ちょっとかたい感じのする言葉で、普段日常会話では使わないですね。

ところでYuichiさんは、村上春樹の小説は読んだことがありますか？

Yuichi: はい、えっと、村上春樹の小説は、ですね、かなり読んだことはあります。特に、大学生のころ、長編を多く読みました。今まで10人の小説家の方を紹介しましたがけれど、一番読んだことのある作家ですね。なつこさんはどうですか。

Natsuko: そうですね。私も長編はほとんど読んでいますね。あと、あの、村上春樹はマラソンを昔から走る人なんですけど、私自分でもちょっとマラソンを走るの、彼の書いたマラソンについてのエッセイなんかすごく面白かったです。

Yuichi: 村上春樹は毎日走っているみたいですね。

Natsuko: すごいですね。私は毎日走れません。

Yuichi: ちなみに、僕は、村上春樹の作品の中で、『ノルウェイの森』っていうのが一番印象に残っています。

主人公が東京の大学生の話なので、東京に住んでいる僕なんかにはとても親しみやすい作品でしたね。知っている地名とかも色々出てきてとても面白かったです。

Natsuko: なるほど。この『ノルウェイの森』は最近映画にもなりましたよね。

Yuichi: そうですね。あと、村上春樹が書く日本語って独特ですよ。

Natsuko: そうなんですよ。確かに、ちょっと、翻訳小説っぽい雰囲気がありますよね。なんか、こう、「これはもともと英語で書いてあった文を、日本語にわざわざ直したんじゃないの？」って思うような…。

**Yuichi:** そうなんです。はい。ま、だから、英語が母語のリスナーの方なんかはとても村上春樹の作品は読みやすいと思います。ま、例えば、小説の中に「キュウリのようにクールに」なんて表現がでてきた事もあるそうです。

**Natsuko:** あ、それは英語の "as cool as a cucumber" をそのまま使ったんですね。

**Yuichi:** もともと表現が英語にとっても近いので、村上春樹の作品っていうのは翻訳されても世界の人に評価されたんじゃないでしょうか。

**Natsuko:** 確かにそうかもしれないですね。英語だけじゃなくて、他にも色々な言語に訳されるみたいなので、リスナーの皆さんは、まず自分の母国語で村上春樹の作品を楽しんでみてもいいかもしれませんね。

**Yuichi:** 最初、オープニングのときにも言ったんですけども、村上春樹は日本人の中では最もノーベル文学賞に近い作家と言われています。で、まあ、彼のノーベル賞受賞を待っているファンは多くいますし、まあ、僕もそのうちの一人です。

**Natsuko:** 私も、是非、村上春樹にとってほしいと思っています。

**Yuichi:** で、去年、「誰がノーベル文学賞を取るのか」ということで、イギリスの賭け屋が調べた結果では、2位だったみたいなんですけども。

**Natsuko:** そうですか。近いうちにとってくれと、嬉しいんですけどね。

**Yuichi:** あとですね、ま、ちょっとした村上春樹に関する謎があります。

**Natsuko:** なぞ？

**Yuichi:** はい。えっと、村上春樹が話す日本語を聞いたことがありますか？

**Natsuko:** そういえば、英語のスピーチは聞いたことがあるんですけど、日本語って聞いたことないですね。

**Yuichi:** 実はですね、村上春樹は関西の出身なんです。けども、彼の作品に出てくる関西の人っていうのは、関西弁を一切話さないんです。

**Natsuko:** 確かに、出てきませんね。関西人の登場人物なら、関西弁になるのが当然のように思うんですけど、どうしてなんですかね？

**Yuichi:** まさに、それが、なぞなんです。

**Natsuko:** あ、そうか。「村上春樹の謎」でした。なぞだから答えは分かんないんですね。

**Yuichi:** はい。この話は実は、村上春樹が好きな友人から聞いたんですけども…。

**Natsuko:** あ、「ハルキスト」のお友達がいるんですね。

**Yuichi:** はい。ハルキストです。ま、村上春樹のファンのことを「ハルキスト」なんて、まあ、呼んだりしますね。

**Natsuko:** そうですね。リスナーの中にもハルキストいらっしゃいますかね。いたら嬉しいんですけど。ぜひ、コメントをください。それでは、このレッスンはここまで。

**Yuichi:** それでは、みなさん、さようなら。